

第1回唐津市厳木市民センター庁舎建設検討委員会 協議結果（議事録）

平成30年3月22日（木）18:30～20:40

厳木市民センター2階 大会議室

1. 委員の出席状況（委員16名のうち15名出席）※欠席1名（松永淳志委員）

山口 恭弘（地域まちづくり会議）
山田 幸範（地域まちづくり会議）
三塩 和義（地域まちづくり会議）
秀島 恵（地域まちづくり会議）
荒久田 悟（地域まちづくり会議）
林田 光子（地域まちづくり会議）
宮地 伸嘉（地域まちづくり会議）
山口 勝己（厳木地区民生・児童委員協議会）
吉野 正彦（厳木町公民館運営審議会）
小笠原 一（唐津市消防団厳木支団）
中島 亀夫（唐津市老人クラブ連合会厳木支部）
相島 智恵（厳木中学校PTA）
池田 大（簗木小学校育友会）
秀島 徹（唐津農業協同組合厳木支所）
竹花奈美子（きゅうらぎデザイン）

2. 事務局の出席状況

市丸厳木市民センター長、東島総務教育課長、白水市民支援係長、
荒久田建築住宅課副主査

3. 会議の概要

1 あいさつ

2 唐津市厳木市民センター庁舎建設検討委員会委員委嘱

3 協議事項

・互選により、委員長：山口恭弘氏、副委員長：山田幸範氏を選任。

山口委員長を議長とし協議に入る。

・本委員会傍聴の希望があった際は、原則認めることを確認。

(1) 唐津市厳木市民センター庁舎建て替えに関する経過について

- ・経過報告
- ・地域まちづくり会議（厳木地区）庁舎検討委員会の協議検討結果

(2) 唐津市厳木市民センター庁舎建設基本計画（案）について

- ・基本計画目次（案）
- ・基本計画（案）：第1章から第7章まで

4 意見等

(1) 唐津市厳木市民センター庁舎建て替えに関する経過について

〔事務局〕

～経過報告及び地域まちづくり会議（厳木地区）庁舎検討委員会の協議検討結果について説明～

〔委員〕

地域まちづくり会議（厳木地区）庁舎検討委員会の協議検討結果の中で、住民に利便性がある機能として社協厳木支所があがっているが、平成30年度に社協厳木支所は相知と北波多と統合し、相知地区に南部支所ができる。1年間は厳木にも事務所を置くとのことだが新市民センターが完成するころには完全に統合となる。社協厳木支所を厳木地区社協と読み替えていいのだろうか。

〔事務局〕

取りまとめ当時は統合について決定しておらず、社協厳木支所について記されていたが、統合も決定し基本計画案には掲載していない。地区社協については、今後必要性について協議を進める。

(2) 唐津市厳木市民センター庁舎建設基本計画（案）について

〔事務局〕

～第1章から第2章について説明～

〔議長〕

スケジュールについて、当初は合併特例債の件もあり平成32年度中の完成を目指す予定だったが、市全体の調整のなかで長くなるようだ。建替えられるのは間違いないので皆さんのご意見をお願いしたい。

〔委員〕

以前から古い順に建替えと聞いていたが、浜玉や相知は手を付けているのか。

〔事務局〕

浜玉は基本設計を実施中である。

〔委員〕

どういう建物を作るかが大切。構造として鉄筋コンクリートなど聞くが、温かみのある庁舎にしてほしい。骨組みは鉄筋でも木を使った内外壁など考慮してほしい。厳木は市有林も豊富にあり、伐採時期が来ている木もたくさんあると思う。金銭的に掛かるかもしれないが、なるべく地元の木材を使用した建物にしてほしい。そのあたりも基本計画に盛り込んでほしい。

〔委員〕

造成の問題だが、増水による避難勧告が出たこともあり、防災拠点や避難所として機能するようにある程度の嵩上げが必要だと思う。

〔議長〕

おふたりの意見は、後の章に具体的に盛り込むことになると思う。

〔事務局〕

～第3章から第5章について説明～

〔委員〕

唐津市連合駐在員会で松浦市に視察研修に行った。窓口や憩いの場など参考になったのでこの会でもそういった施設に行ってはどうかと思う。

〔委員〕

目的別にしか使えないなど、ソフト面での問題点が施設ごとにあると思うので盛り込んではどうか。

〔事務局〕

目的別に整備した施設で運用面で使いにくい部分があるのは承知している。複合施設では、配置やソフト面なども考慮して使いやすいものにしたいと思っている。

〔委員〕

予定地が水害等に強い場所なのか気になる。過去の被害事例など分かれば教えてほしい。

〔事務局〕

昭和28年水害の折に厳木川が氾濫した経緯はあるが、その後の整備等もあ

り大きな被害はあっていない。予定地の嵩上げについても考慮していきたい。
また、河川の護岸改修についても国に要望しているところである。

〔委員〕

巖木ダムが出来て安全だろうと思っているが、大雨の際にもっと貯水できる
のではと感じている。

〔事務局〕

雨水の流入出の調整機能は果たしていると考ええる。

〔委員〕

近くに林道八丁坂線があり、結構土砂崩れが起こっている。もし川に崩れた
ら氾濫の危険もあるのではと思う。

〔委員〕

多久市からの合流点から上の方がどちらかという災害がある。ダム下流は
少ないと思われる。

〔議長〕

いずれにしろそういった問題意識を持って今後計画策定に臨んでほしい。

〔事務局〕

～第6章について説明～

〔委員〕

地域の核として皆が集まりやすい施設にすることが大事だと思う。行きたく
なる施設について考えたときに、ただ公共施設があるだけではなかなか足が向
かない。広場があったり飲食が出来たり行きたくなるスペースが欲しいと意見
を出してきた。資料の中で、広場として使えるのは緑地になるかと思うが、駐
車スペースとしては現在のコミセン駐車場も併用できるので、広場のようなス
ペースを確保するなど考えられると思う。

〔事務局〕

90台の駐車スペースとしているが、別途浄化槽スペースも必要だったり、
建物の形状や配置で変わってくる。用地規模の基準として示させていただき、
基本設計等で形になってくると考えている。

〔委員〕

文言としてコミセン駐車場との併用についても書き込めればと思う。

〔事務局〕

敷地利用について膨らみが持てるよう文言については考えたい。また、建物の位置や形状によってスペースの取り方は変わってくるので、基準として捉えていただきたい。

〔委員〕

規模についてだが、考え方として現施設の約3分の2というのがあった。今回示されているこの規模設定もその上限面積に沿ってもよいのではないか。

〔事務局〕

現施設の約3分の2を上限として話をさせていただいていたが、今回、庁舎更新時の基準や公民館整備時の基準をもとに敷地利用の一定の根拠として数値を揚げさせてもらっている。この積算がすべてではなく、今後意見をうかがいながら、設計の中で具体的に固まっていくものと考えている。

〔委員〕

複数階になるのであれば、エレベーターは必ず付けてほしい。

〔事務局〕

複数階になれば、エレベーターは設置することになる。

〔議長〕

規模設定については、今後も継続して話し合っていきたい。

〔事務局〕

～第7章について説明～

〔委員〕

文化祭や老人クラブ総会の時、音響が悪いので考慮してほしい。また、会議室利用を無料にしてほしい。社会教育団体や奉仕団体は無料など考えてほしい。この際、利用規定を再考いただきたい。

〔委員〕

次回以降、具体的な図面等提示されるか。字や数字だけで見てもイメージが湧いてこない。似た事例の図面などあればイメージしやすいと思う。

〔委員〕

建築を知らない人が議論しても、何を計画に盛り込むべきか分からないと思うので、建築に詳しいアドバイザーのような方がいてくれると有難い。また、

皆が集う施設にするために、各地域でワークショップをするなどして住民が関心を持ってもらいたい。

〔委員〕

この委員会は今年度いっぱい開催となるのか。

〔事務局〕

基本計画策定についての委員会を30年度に3回開催できれば考えている。また、31年度の基本設計の折にも開催できればと考えている。

〔委員〕

先程も言ったように、先進地視察があれば分かりやすいと思う。

〔委員〕

基本設計等が進む前に、道路や歩道などの周辺整備について、県などと議論を進めてほしい。

〔事務局〕

市から県土木事務所に要望書を提出しており、市道巖木ダム線もあわせ選果場跡側に歩道を設置するよう協議をしている。

〔議長〕

目で見ないとイメージが湧かないという意見が多いので、会議を進める中で少しずつ明らかになるよう要望する。

また、建築の専門家を入れての議論をという意見があったが、今のところそういう計画はない。あくまでも委員の皆さんの立場や見識のなかで議論いただければと考えている。視察についても今のところ計画はない。今後必要性があれば改めて議論したい。そういうことでよいか。

(異議なしの声)

では、次回は4月の下旬の夕方を目途に日程調整をさせていただくということで本日は閉会する。【閉会】

以下余白